

全国ギャザリング2015 報告書

考え話そう、今日ここで。

開催期間:2015.11.21~23 場所:国立信州高遠青少年自然の家

index

目次

- 3 P 実行委員長の言葉
- 4 P 企画コンセプト
- 5 P 出発企画
- 8 P 周遊企画
- 13 P 帰郷企画



- 17 P 参加者データ
- 18 P 参加者アンケート
- 19 P スタッフからメッセージ

committee

実行委員長の言葉

今も、考え続けていますか？

実行委員長の東山文音(あやねっと)です。

今回の3日間に渡る旅はいかがでしたか？

パスポートは無くすと大変なことになるので、ちゃんと持って帰ってきたか確認してくださいね。無くしてしまったというそのあなた！再発行にはあの3日間の記憶が必要です。

思い出してみてください。あの時、何を感じて考えて話したのか。

旅に出る前に考えていたこと、それまでは考えてもいなかったこと、

旅先で出会った人たちと話すことで引き出された考え、

1つ1つの荷物を頭の引き出しにしまって、片付けてから日常に戻りましょう。

さて、解散式の際にもお話をさせていただきましたが、

何年後か、何ヶ月後かに

「最近、いろんな分野で環境への取り組みが増えたよね」という印象を受け、

その取り組みの発起人を調べてみたら、

「今回参加して下さった皆さんばかりじゃないか！」という未来が

私の野望で、夢です。

それが皆さんが「考え続けて」いき、

環境問題に変化が生まれた結果だと思うからです。

そんな未来を楽しみにしながら、

私も日常生活に戻りながら「環境問題を考え続ける旅」は続けていきます。

またどこかでお会いした時には、みなさんとその時の「考え」を「話せる」ことを楽しみにしています！

ありがとうございました！お元気で！

全国ギャザリング2015 実行委員長 東山文音(あやねっと)



concept

企画コンセプト

イベント全体を通してのコンセプトは「旅」でした。

「考え話そう、今日ここで。」のテーマの元、様々な人と様々なテーマについて話して行くという旅をイメージして全体の雰囲気を作り上げていきました。また、企画内容に関しては、話すことをメインに置き、自分の考えや経験を言葉にして話すことで自分のものとしていく・再発見していくという経験を大切にしていました。

目的は学生の環境活動を終えても、その経験を考えとして持ち続けてもらうことでした。

そこで、1日目に価値観・考えについて話すことと環境活動から職業につなげていらっしゃる講師の方のお話をお聞きし、モデル像を知ることを通して自分自身の整理を行いました。

2日目は事前アンケートで得票が多かった「循環型社会」「エネルギー問題」と実行委員会として今回のテーマを踏まえて設定した「環境倫理」の3つの分科会に別れ、講師の方をお呼びし、ワークを通して知識を自分の中に吸収しました。

最後に3日目は、1日目で整理した自分と2日目に学んだ環境問題との距離を知り、自分が考え続けていきたいことは何かを探していきました。

以降のページで各企画の詳細な報告を行ってまいります…



01

しゅっぱー一つのまえに...

2015.11.21 Sat 1st program

▶ 企画概要

これから始まる全国ギャザリング2015の旅に「いざ！しゅっぱー一つ！」する前に、一緒に旅をする仲間と打ち解けられるアイブレプログラムを2つ用意しました。より多くの人と自分のルーツに関する自己紹介をしながら、緊張をほぐし、お互いを知って、たくさんたくさん話してもらうことを目的としていました。

「日本地図になろう」

旅に必要なのは、行先までの「地図」。でも「地図がない」ということで、全国各地から集まったみんなで日本地図になってみました！「自己紹介+出身県の特徴」をヒントに一对一または数人で話しながら、自分の出身県の場所に移動。

「あなたのマイナンバーは？」

パスポートに記された4桁の数字は、なんと、あなたのマイナンバー。今回の旅ではそのマイナンバーを流出！？自分のマイナンバーの年に自分に起きた印象的な出来事について、9人以上の人と流出させることをノルマに話しました。



▶ 企画担当者からのメッセージ

旅をともにする仲間とたくさん話すことはできましたか。開始早々に地図を無くしてしまつてすみませんでした。でも全国各地から集まった皆さんのおかげで地元トークで盛り上がりながらも、どんどんと日本地図の形になっていく光景を見ていて私たちは本当に感動しました。ご協力ありがとうございました。

今話題のマイナンバーを流出させることにドキドキした方もいたのではないですか？初めて会う人と話すときもドキドキしますよね、そんな時は数字を使って質問してみるといつもとは違う自己紹介や相手の一面を聞き出すことができるかもしれませんよ。ぜひ試してみてください。でも、本物のマイナンバーの取り扱いには注意してくださいね！

多くの人と話して、話して、話すことで、皆さんの緊張を少しでも和らぐことができたのであれば幸いです。



02

旅の持ち物

2015.11.21 Sat 2nd program

▶ 企画概要

普段の生活の中にある「マイはしとわりばし」、コンビニや多くの大学で行われている「エコキャップ活動」、地元ではないところの活動から考える「エネルギー」、この3つのテーマから自分ならどのように思い行動するかを考えて話しました。
この出発企画は、2日目に向けて自分から意欲的に臨む姿であることを目指す「3日間全体のアイスブレイク」ということを目的としていましたが、参加者は合わせて6回もグループを作り、1日目から多くの人と顔を合わせ話すことができました。
その中で参加者の色々な考え方や環境に対する気持ちに触れることができ、これからの活動に対する刺激になりました。また、設定した時間では熱が冷めないほど熱く話すことのできる空間を提供することができました。



▶ 企画担当者からのメッセージ

施設に到着していきなりのハードスケジュールでしたが、積極的に考え話してくれてありがとうございました。普段はなかなか考える機会の少ないテーマでしたが、自分なりに考え話すことができましたでしょうか？自分の考えをあえて言葉にして話すことで整理できたり新しい発見があったりしたのではないのでしょうか。環境問題を考えたり活動したりする上で大切にしているものに気付き確認できて、それがこれからの「旅の持ち物」になれば幸いです。
私たちは今回考えてもらった3つのテーマに正解はないと思っています。これから他の環境問題や、さらにはそれ以外のことを考えるときも、メリット・デメリットや矛盾の中で選択をしなければならぬ機会があるかもしれません。その中で自分なりのこだわりを持った、それぞれオリジナルの「自分はこうやって考える、だからこうやって行動する！」という気持ちを大切にしてもらえたらと思います。



03

出発～目指したいモデルとして～

2015.11.21 Sat 3rd program



▶ 企画概要

開催地の長野県で副知事をされており、エコ・リーグOGでもある中島恵理様からお話を伺いました。1日目はこの時間の前に話すことで自分の整理を行う時間がありましたが、この時間では「考え続ける」ための1つのモデルを知るという意味でお話をいただきました。

中島様は学生の頃に行っていた環境活動への想いを現在にも繋げられています。職業としては環境省での勤務を経て、現在では長野県副知事に就任されており、生活面では東京と長野の二地域居住をされています。

ご講演の中では、「東京で、環境にやさしい生活をできない罪悪感」を感じたことから「長野で、究極に環境に優しい生活」をしたいという想いをお聞きすることができました。また、環境政策について、現場を知ることの大切さや、地域活性という視点からのお話もあり、参加者の興味の琴線に触れるような内容を伺うことができました。

最後に、中島様の環境活動への原動力をお尋ねしたところ、問題自体を考えることのおもしろさ、たくさんの人とのつながりが生まれることなど、その「楽しさ」にも原動力があるとのことでした。考え方のモデルとしてお話を伺う中で、環境問題は取り組みの中で「責任感・罪悪感」というマイナス面と「楽しさ」というプラス面の2つを併せ持つことを再認識してもらったと思います。

04

こんな贅沢な観光地聞いたことない！

2015.11.22 Sun 4th program

▶ 企画概要

周遊企画では、エネルギー・循環型社会・環境倫理の3つのコースに分かれて、環境に対して深い理解を得るために分科会を行いました。社会人になっても環境問題に関わり続けている講師の方からそれぞれの環境問題についての現状や課題、今後の展望などを聞いて環境問題の難しさやおもしろさを感じてもらいました。



▶ 講師紹介

◇エネルギーコース
発電科学館



川島 悟一 氏
自然電力株式会社

◇循環型社会コース
ぐるぐる島



水谷 努 氏
横浜市資源循環局
資源政策課

◇環境倫理コース
哲学の町



道家 哲平 氏
国際自然保護
連合日本委員会

04

発電科学館

2015.11.22 Sun 4th program

▶ 企画概要

今回のエネルギーコースの分科会の目的は、まず参加者に電力小売自由化と再生可能エネルギーについて、仕組みや課題やこれからの展望、自分たちと電力小売自由化についての関わりなどを知ってもらい、そうすることで参加者たちにエネルギー問題を身近に感じてもらう、今後も引き続き、参加者に環境問題について考え続けるようになるきっかけになることを目的としていました。内容としては、自然電力株式会社でご活躍されている川島悟様を講師として呼びまして分科会を行いました。前半は、参加者たちが電力小売自由化、再生可能エネルギーについての知識が少ないことを想定し、まず仕組みなどの基礎知識を論じていただき参加者にある程度の知識が備わった状態で、再生可能エネルギーを増やす小売事業についてグループで考えてもらうというワークを行いました。

成果としては、参加者が分科会の内容を楽しく理解したと同時に、環境問題について考えられる人になったように思います。

▶ 講師の方からのメッセージ

ギャザリングお疲れ様でした。

周遊ツアー「エネルギーコース」はいかがだったでしょうか。電力自由化と再生可能エネルギーについて勉強して、考えていくものですが、講義の方は、かなり難しい内容だったと思います。それに関わらず、みなさん積極的に聞いて、質問して、理解していたかと思えます。

後半のワークショップでは、個人で考えたアイデアをベースに自由勝手にグルーピングするという手法を取り入れましたが、同じアイデアで集まったり、なんとなく近いコンセプトで集まったり、他の人の面白いアイデアに乗ったりと、予想以上に面白い展開となりました。最後のグループ発表でも、電力小売のヒントになるもので楽しかったです。

エネルギーは、食料とならび、私たちの生活を支える根幹である一方、限られた資源で争いを生み、環境を汚染したり、地球温暖化を引き起こすものです。持続可能な社会を実現するために、再生可能エネルギーを増やしていく必要があります。

私は、今、仕事で再生可能エネルギーを増やす挑戦をしています。ぜひ、みなさんも持続可能な社会に向けた挑戦をしてください。期待しています。



04

ぐるぐる島

2015.11.22 Sun 4th program

▶ 企画概要

この分科会の目的は普段身近にあまり感じることがない行政や政策に関して、その現場で活躍されている方から直接講義していただき、また身近である問題を行政の視点を交えつつ考えることで、参加者に循環型社会の形成に必要不可欠である、環境政策を身近に感じてもらうことでした。

企画内容は、午前は講義形式で参加者の皆さんに講師である水谷様の環境省、横浜市役所に勤めているという経歴からの体験談も交えて、廃棄物行政の現状を国、自治体両方の視点から学んでもらいました。また講義の節目にしていた質問タイムでは参加者から積極的に手が挙がっていました。

午後の時間では「家庭ごみの収集の有料化・戸別収集の実施」についてグループで話し合いました。それぞれのメリットデメリットを挙げそれをグループごとに発表してもらいました。発表ごとに講師の方に細かく意見を言ってもらい学生ではなかなか気づけない視点を提供していただきました。

▶ 講師の方からのメッセージ

全国ギャザリング2015ではお世話になりました。また3日間大変お疲れ様でした。

私自身、講師として関わることができ、皆さんの熱意に大いに刺激され、活発な意見は参考になる部分も多々あり、大変楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。

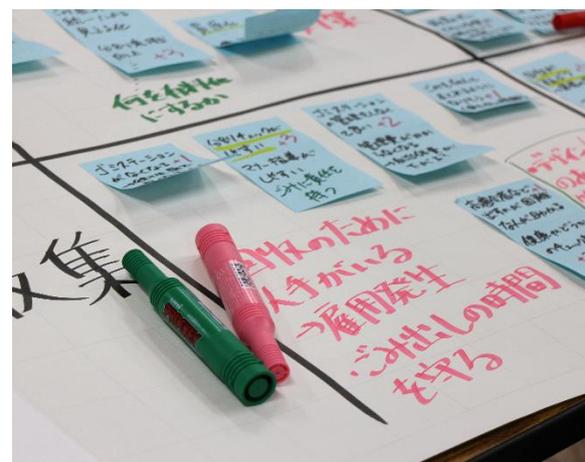
どうもありがとうございました。

学生による議論はどうしても現実離れした理想論に陥りがちなのですが、皆さんの意見・議論は、環境問題への取組の原点である「情熱」や「問題意識」は忘れず、一方で現実も直視した、いい意味でバランスのとれたものが多かったように思います。

私も皆さんから頂いた情熱を胸に、また初心に帰って横浜市そして環境省で仕事に励んでいこうと思います。

皆さんが、それぞれの地でそれぞれの立場で、共通の理想・信念の下で活躍されることを、また、ギャザリングでの講義や議論の内容が、今後少しでも皆さんのお役にたつことを祈念しております。

またどこかでお会いしましょう。



04

哲学の町

2015.11.22 Sun 4th program

▶ 企画概要

今回午前は、最初に道家様自身の紹介の後に、環境倫理についての説明がありました。環境倫理とは「環境及び環境問題に関する人間社会の行動規範」という定義から、「行動規範=～すべき」に注目して、私たちが考える環境倫理とはどんなものかをグループで共有し、それらを全体で発表して、それぞれの共通点と差異に注目してみました。最後に道家様から環境倫理の学問的整理と他の倫理との関係などが示されて午前の部は終了です。

午後は、「世界を想像してみる」というテーマのもと、IUCNが掲げるグッドガバナンスのうちの1つを各グループで選択し、その原則の自身・重要性をわかりやすく説明できるように調査し、まとめ、発表しました。最後に、道家様から「未来の環境倫理」として、多様性の重要性について講義をしていただき、分科会は終了しました。初めは参加者にとって馴染みのないテーマであったにも関わらず、道家様の段階を踏んだわかりやすい講義や参加者主体のワークショップにより、自分事として環境倫理を考えることができました。

▶ 講師の方からのメッセージ

環境倫理のコースにご参加された皆さんは、難しいテーマにもかかわらず、真面目にでも楽しそうに話し合っていた姿が印象的でした。私自身初めての試みでしたので、「一応船長だけど、乗組員の皆さんと一緒にこのコースを冒険できた」という思いでいます。

参加者の皆さんには倫理というものが遠いものではなく多様な人々が多様な背景の中で一緒に生きていくためのものであること、倫理（規範）というものが生まれるということはその倫理（規範）がなくて苦しむ人々がいたということに思いを馳せていただきたいと思います。そんなことをいつも考えているのは大変ですが、環境問題は、皆さんの未来のあらゆるところで出会うテーマであるのが、この経験をどこかで活用してほしいと思います。

自然を守るということについて、もっと知りたい、何かしたいというかたは役に立てるか分かりませんが、私に声をかけてください。



05

環ぱー——い!!!

2015.11.22 Sun 5th program

▶ 企画概要

3つのコースの参加者が合流して、分科会で得たことを語り合う場を提供しました。分科会で得た新しい発見やわからなくてもやもやしたことなどをみんなに話すことで自分自身の理解を深め、「他人から聞いたこと」からその情報に納得して「自分の知識」にするところまでの理解を目標にしました。

分科会で感じたことを本音でざっくばらんに話してほしかったので参加者がリラックスして楽しめるように、お菓子や飲み物を用意して飲み会の雰囲気を作りました。気軽にいろんな人と乾杯して話すことで参加者同士が仲を深めることもできたと思っています。

▶ 企画担当者からのメッセージ

みなさん全G居酒屋楽しんでもらえましたでしょうか？参加者のみなさんがリラックスして話せる場になったなら幸いです。

みなさんがお土産やコップを忘れずに持ってきてくれたり、明るく企画に参加してくれたりしたことで企画が盛り上がったと思います、ありがとうございました。（飲み物が少なくてすみませんでした！）

学んだ内容を真面目に熱く語っているテーブルもあれば、お絵かきしているテーブルもあり、みなさんが主体となって自由に企画を形作っているところがおもしろかったです。他の分科会の内容を聞いて気になったことや、自分で話していて難しいと思ったことはぜひもやもやしたまま終わらずに自分で調べてみてほしいなと思います。



06

世界がもし80人の村だったら...

2015.11.23 Mon 6th program

▶ 企画概要

家に帰るまでが旅です！ということで、この3日目企画では参加者の皆さんが1つの村の住人で、村に帰ってきてからの生活を考えていくという設定のもとで進めました。

概要としては、まず自分の1日の生活を振り返りながら、その消費電力量を計算しました。電力は家庭からのCO2排出における原因の1位ということで、自分がどの程度環境問題に関わっているのかを実感するためのワークでした。

次に、誰も環境について考えなかったら村の環境がどう変化してしまうのかを予想し、それが人のどんな考えによるものかを掘り下げました。最後に、その最悪な環境を現実にはしないために、自分たちが暮らす理想の村を作り上げるワークを行いました。一貫して自分と環境問題との距離を掴み、自分に何ができるのかを考えてもらうことを意識していました。あの場に参加していた約60人が1つの村を成していたら、「自分1人くらい...」という考えはできず、次世代に村を引き継ぐためには自分ができることを活かして行動していくことが必要になると思います。

1人1人が自分のできること・やりたいこと・やるべきことをあの場で見つけてもらえていたら嬉しいです。

▶ 企画担当者からのメッセージ

みなさんが作った村、環境に優しいだけでなく住む人にも優しい村でとっても素敵でした！！

みなさん村を作っているときの表情がとっても楽しそうで私も混ぜたいなと思っていました...

それと同時にみなさんがこんなに笑顔になる企画を作れたことを嬉しく思いました。村民のことを考えたり、子供世代に引き継ぐことを想像したり...みなさんのわくわくが伝わってきてこんなワクワクした気持ちのまま今後も環境に関心を持ち続けていってもらえたら帰郷メンバーをはじめとする全国ギャザリング2015スタッフは大喜びです！どうかその気持ちを忘れないでください。



07

考え話そう、今日ここで

2015.11.23 Mon 7th program

▶ 企画概要

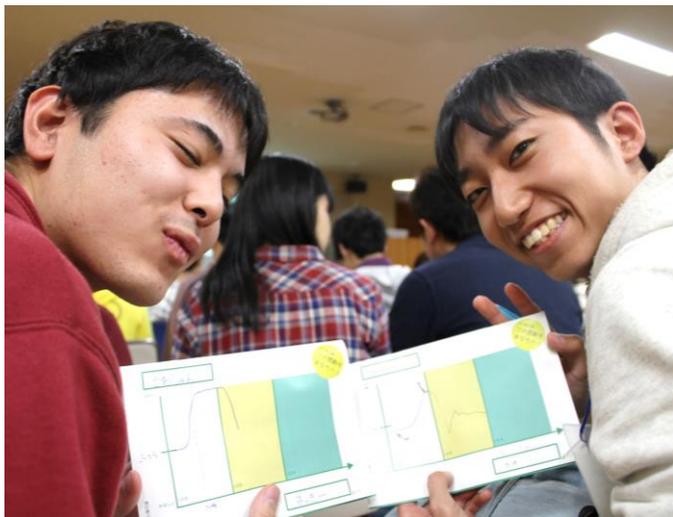
村を意識したグループワークから、ここでは自分自身との対話と、それを誰かに伝えて考えを固めることで、自分の意識の中に「環境問題を考え続けること」を定着させることを狙いとしました。概要は、まず自分自身との対話と、誰かとのつながりを同時に感じてもらうために、参加者全員で手をつなぎ1つの大きな輪となり、目をつぶって司会の問いかけに対する自分の考えをそれぞれの頭の中で考えてもらうという形をとりました。それまでの2日間をふりかえり、自分が環境問題について考え続けていきたいことを改めて整理してもらいました。そして、最後はテーマと同じ「考え話そう、今日ここで。」というワークを行いました。原則ルールとして1対1のペアで話すことというルールのみを設け、さきほど考えてもらったことについて40分間自由に対話をしてもらう時間としました。ある人は半分ほどの時間を同じ人と使い、ある人は少しずつの時間を多くの人と会話することで使っていました。その違いをみなさんにお任せすることで、全体テーマに沿った最後の企画になったと考えています。

▶ 企画担当者からのメッセージ

ギャザリングの最後の企画の定番はこれからの自分の計画を練るアクションプランが多いと思います。もちろんそれを否定するわけではありません。しかし、今回のテーマや雰囲気に沿った内容を作りたいという想いが企画メンバーにはありました。結果的にこのような形の企画になり、最後にまとめるというよりは、最後まで話し尽くすことでの新しい発見と整理を繰り返していくような内容となりました。また、目をつぶって輪になっている部分はスタッフも全員で参加していたため、誰も写真を撮っていないという幻の企画になりました(笑)ですが、皆さんが真剣に取り組んでくださったおかげで、少し突拍子もない企画も、静かに自分と向き合う良い時間になったと企画者としてとても満足しています。参加してくださった皆さんにお任せする部分が多かったこの企画なので、一緒に企画を成り立たせてくださった皆さんに感謝です。ありがとうございました。



other



お土産企画

2015.11.21~23 other program

▶ 企画概要

全G2015では参加者の気持ちの変化を大切にしていました。1日1日で何があったか、その出来事が自分にどんな影響を与えたかなどをイベントが終わった後も忘れてほしくないと思ってこの企画を作りました。全Gの期間中の1日1日の出来事を振り返るとともに、自分の気持ちがどのように変化したかを折れ線グラフで記録してもらいました。全G2015のパンフレットを見るたびにどんなイベントだったか思い出せると思います。ぜひ捨てないで思い出として取っておいてほしいです。

自主企画

2015.11.21~23 other program

▶ 企画概要

参加者の中の希望者から企画を提案していただき、実際に夜の時間にその企画内容に興味を持った参加者が自由に参加する「自主企画」を今年も行いました。

今回もトランプのような楽しい企画から、ちょっと真面目な内容の企画まで参加者の想いのこもった様々な企画がありました。

企画の場所がたたみの宿泊部屋であったこともあり、全体としてのびのびとした雰囲気で行われていました。



other

自主企画

2015.11.21~23 other program

1st Day

「ガチ大富豪」 byぼん
「精神と時の部屋」 byしの,しょう
「代表者会議 副お断り！」 byくに
「百貨店を助けてください～時間が余ったら人狼やります～」 byあべ
「ラッピングしませんか」 byぎゃっつ
「日本地図を作ろう」 byぼるむ,りかりん
「大規模ゴミ拾いやるよ」 byガリレオ
「世界のワカモノの動きとパワーシフト ジャパン」 byソーヤー海
「1年生会」 byこうすけ



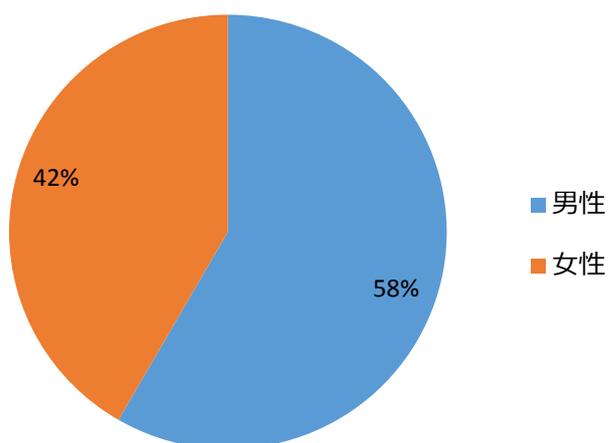
2nd Day

「活動紹介」 byぼん
「九州ギャザを盛り上げよう」 byいまみー
「【同時開催】①就活の悩み相談 ②廃水処理って」 by西崎
「地域活性について考えよう」 byくまお
「1回生会and星を見に行こう」 byまつりん,こうすけ
「CCC省エネチェックシート NO.1節電大学はどこだ！」 byとりっぴー
「海外旅行・ボラアンティア情報交換」 byくに
「きゅうりさんと話そう」 byきゅうり
「福島事故ハイキ物について」 byげーと
「精神と時の部屋」 by篠原光礎

date

参加者データ

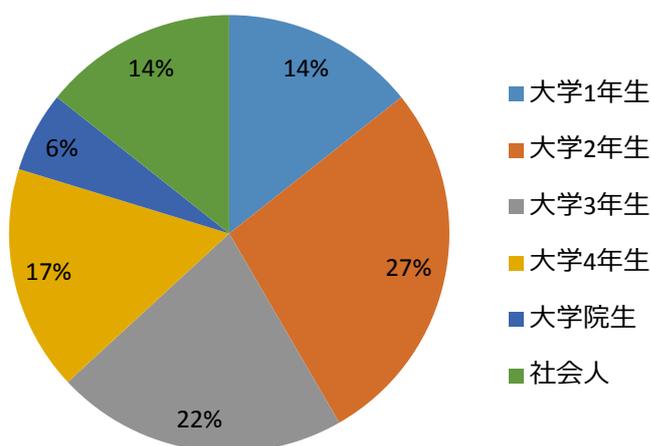
参加者の男女比



[内訳]

- ・男性：49人
 - ・女性：35人
- 計：84人

学年別参加者



[内訳]

- ・大学1年生：12人
- ・大学2年生：23人
- ・大学3年生：18人
- ・大学4年生：14人
- ・大学院生：5人
- ・社会人：12人

都道府県

宮城県、岩手県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、
長野県、静岡県、新潟県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、京都府、
岡山県、兵庫県、福岡県、佐賀県

Q&A

参加者アンケート

○参加のきっかけと決め手について

【Q6】「全国ギャザリング2015」を知る“キッカケ”は何でしたか？（複数選択可）

多くの参加者はスタッフや参加を決めた友人からイベントを知り、またSNSではFacebookがもっとも知るきっかけとなった。

【Q7】このイベントに参加しようと思った決め手は何ですか？

参加の決め手となったのは、「新たな繋がりづくり」「知人と会いたい」等の人との繋がりを求めて、また「スタッフに誘われたから」「友人がスタッフだったから」等のスタッフ関連の理由が多かった。

○企画の全体像について

【Q16】以下、企画の全体像について感想をお寄せください。

- ・複数の手法を組み合わせ、心理的にも話しやすい企画を作ったりすごかった
- ・考え話して、充実した時間をすごせた
- ・「考え話す」に特化した内容でわかりやすかった
- ・レベルが高く企画というより3.4年生との影響や意見を出して聞くことが多くてよかった
- ・1年生なので学ぶことが多く、興味を持つことが多かった
- ・全体的にスタッフも参加者も「のびのび」してる感あってすごしやすかった
- ・環境団体とかっていうより個人って視点をピックアップしてる感じが好きだった
- ・いろんな人と話すことができ、また色々なことを考えることができた
- ・全国の人と出会えてよかった
- ・物事の深くまで「なぜ」「どうして」と考えていくことの大切さを再確認できた
- ・普段やらないことばかりで楽しく、勉強になった
- ・テーマを意識された企画内容になっていて最後まで楽しめた
- ・スタッフが入ることで盛り上がる場所が多かった

staff

スタッフからメッセージ

全国ギャザリング2015の旅が終わり、いかがお過ごしですか？いつもはあまり深く考えずに自然に選択して、生活または活動してきたことを、改めて考えてみると自分の思考や物の新たな一面を知ることができたのではないかなと思います。答えは1つではないからこそ難しいけど、その分考えることがワクワクするし、楽しいのだと私自身も実感しました。また皆さんと会ってたくさん話したいです！ぜひまた会いましょうー(^^)／

久米 由佳

4年生にもなって全Gに携わることができてとてもうれしかったです。ありがとうございました。パンフやチラシを担当したためか、みなさんの前であまりお話しする機会がなく少し残念でした(笑)ただ、一生懸命悩んだり話したりまた悩んだりしているみなさんの表情が次第に笑顔になっていく、そんな瞬間をこっそり見ることができてよかったです。参加していただいて本当にありがとうございました。またどこかでお会いしましょう。

長澤 利紀

出発企画で「地図がなーい」をやっていたさわじゅんです。名演技でしたね☆みなさんが真剣に、でもすごく楽しそうに考えていて、いいなあ混ざりたいと思って見ていました。みなさんとお話して刺激をもらい、これからも考え続けようという気持ちになれました。本当に参加してよかったです。あ、長野でキャンプを企画してくれる人ゆる〜く募集中！誰か一緒にやりましょう！

澤田 純平

どうもー。皆さんお元気ですか？ぼくは元気です。この全Gでぼくはスタッフと参加者のパワーに「うおーすげー」と圧倒され続けていたように感じます。全員がきらっさらに輝いていました。自分のいる環境がとても恵まれているんだなあと再実感した次第です。みなさんに追いつき追い越せの精神で楽しみながらこれからも頑張っていこうと思います。ではではまたどこかで！

遠藤 成拳

考え話す旅、いかがだったでしょうか？私は、「あー、参加してホント良かったなあ」と素直に思いました。あなたは、この旅でどんな思い出ができましたか？私は、参加者のみなさんが真剣に考え、主体的に話している姿がとても印象に残っています。考え話す旅は、これからも続きます。その旅のどこかでまたお会いした際には、ぜひ私にあなたの考えを聞かせてください！

神 若葉

全国ギャザリングはいろんな人が協力してくれているイベントだな〜と感じる日々でした。スタッフはもちろん、様々な人が企画や事務のお助けをしてくれて、多くの人が前向きにイベントに参加して企画を実現させてくれました、とても感謝です。人から人へ信頼でつながって実行委員会まで届くのすごーいと思いました。世の中優しい人たちばかりだーいえーい。

富井 七奈美

わたしにとっては8回目のギャザリング参加になる全G2015でした。そして、今まで参加した中で一番あっという間に3日間が過ぎたように感じました。それだけ充実した時間だったのかなと。参加者の皆さまにとってもそういう時間になったのであれば幸いです。これからも私は考え続ける旅を続けていきますよー！皆さまもぜひ一緒に。

佐々木 つぐみ

今回のギャザを通して、自分はまた成長できたな、と思います。講師対応も最初は初めてのことが多くほんとに分からないことばかりでしたが、とみーさんやあやねっさんとさんや周遊の他のメンバーにいろいろ助けて頂いてなんとか自分なりにやりきることができました。ここで得たいろんな経験やいろんな仲間を大事にしていこうと思います！

北島 宗一郎

staff

スタッフからメッセージ

今回の実行委員を通じて学んだことはこのような企画を動かす為に最も重要なことは「リーダーがしっかりと信条を持ち、積極的に発信すること」であるということである。今回の全国ギャザリング2015にこれだけのスタッフ、参加者という人が集まったのはリーダーが強い信条を持ち、それをしっかりと発信してきたことに他ならない。今回の全国ギャザリング2015最大の立役者である実行委員長東山に一番の感謝を送りたい。

「ありがとう、そしておつかれさまでした」
長島 匠

ここでは個人的コメントを書きますね～個人的には自主企画が盛り上がりを見せてくれたことが私は嬉しかったです。なんだかんだ自主企画楽しいです。朝まで話すの大好きなんですよ笑 旅の夜はちょっとくらい無理しなきゃ！ということで、私と徹夜ギャザリング、略して「徹G」を開催してくださる方、参加してくださる方大募集です。けっこう本気で！問い合わせはコチラ(あやねっとの何かしらの連絡先)まで！ご応募どしどしお待ちしております～

東山 文音

3日間司会してましてました！のっちです！！司会って前に立つので皆さんの顔がとってもよく見えるんですよ！3日間かけて皆さんの表情がイキイキキラキラしていくのを見て内心ニヤニヤしてました。ふふふ。名刺を忘れても全国の人たちに名前を知ってもらえるんだもん、司会って素晴らしい。最後にもう一度！
せーのっ！「のっちー！！！」

井上 沙紀

この度は全国ギャザリング2015にご参加いただき本当にありがとうございました。全国ギャザリング2015の旅が終わってから、いかがお過ごしでしょうか？今回この機会に出会えた素敵な皆様と、一緒にこれからも環境のことを考え、話すこと旅を続けることができたらとてもうれしいです^^またどこかで皆様とお会いできる日を心より楽しみにしております！

秋葉 莉緒

いやさあ、恥ずかしいです。こういうの書くの。ってまた書いてるとどこの誰かに怒られそうだなほんと。まじめに書こうか。とりあえず俺は今回のギャザでみんなの笑い声と笑顔がみれてニッコリです。考えて、話して、意見もらって、また考えて、また話して。このサイクルを続けてください。それを俺に話してほしいです。考えて話すのは今日だけじゃないからね！！うわどうしようテーマを反対しちゃったよあやねっとに怒られる...。

鈴木 貴之

今回の全Gでは、自分自身忙しい時期でありあまり時間をとれなかったため、企画にはあまり関わらず手伝いという形で運営に関わった。正直他の人に比べてタスクは少なかったが、自分自身とても楽しめたので、やってよかったです。

長谷部 弘樹

担当理事のかけです。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！大学生中心の環境活動をどう卒業後も続けてもらうのか、環境問題を考え続けてもらうのが今回のイベントのテーマでした。エコ・リーグとしても卒業後もみなさんと活動できる機会をつくっていきたくて思っています。何かアイデアがあれば、ぜひ一緒にやりましょう！

掛川 洋規



全国ギャザリング2015にご参加していただいた皆様、
ありがとうございました。



エコ・リーグは環境活動を行う全国の若者が運営するNPO法人です。
1994年にNGOとして設立されて以降一貫して持続可能な社会の実現を目指し、若者主体の環境活動の活性化に取り組んできました。
現在では、環境活動を行う若者のネットワークを軸にしながら
「環境問題に取り組む若者の育成」
「若者の主張の社会への発信」
を行なっています。

ホームページ : <http://el.eco-2000.net>
Facebookページ : <https://www.facebook.com/ecoleague>
Twitter : https://twitter.com/ecoleague_youth